

令和5年度のスタートにあたって

校長 藤村 哲子

1年生4学級、2年生4学級、3年生4学級、特別支援学級4学級の計16学級、全校生徒418名で、令和5年度の教育活動をスタートしました。昨年度は、新型コロナウイルスの感染状況を見きわめながら、制限のある中でも工夫しながら教育活動を行いました。今年度もまだ気を緩めることはできませんが、これまで培ったコロナウイルス対策を存分に発揮しながら、さらに教職員全員で知恵と工夫を出し合い、アフターコロナを意識した新たな学びを構築したいと考えています。

今年度、大麻中学校の重点教育目標を『夢や可能性に向かってたくましく生きる生徒の育成 ～自分で選び、自分で決めて発信する力をつける教育の推進～』と設定しました。私たちの想像以上のスピードで、社会が変化し、複雑で予測困難な時代を迎えています。このような混沌とした時代を生き抜くためには、「自分で選び、自分で決めて、自分の意見を発信できる力」と「多様性を受容する寛容さと高い人権意識」を身に付ける必要があると考えます。学校は子どもたちが豊かな人生を切り拓いていくことができるよう、情熱をもって必要な力を育んでいきます。

小中一貫教育につきましては、今年度より本格的にスタートします。江別市の目指す子ども像（15歳の春の姿）「夢を持ち、夢を語り、夢の実現に向けて 行動する子ども」を実現するため、大麻中学校区では、大麻小学校・大麻西小学校・文京台小学校と手を携えて、「ともに支え合い 夢や可能性に向かって たくましく生きる子ども」の育成を目指していきます。

これからも感染状況を注視しながら、安全を第一に考えて、生徒が明るく元気に学校生活を送り、自分の力を最大限に発揮することができるよう努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。